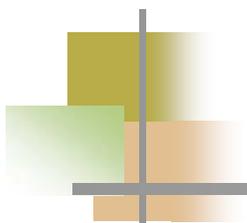


2008年3月17日

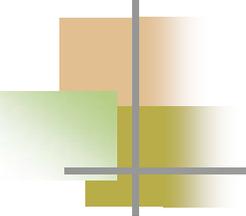


# 地域医療の充実へ向けて

---

自治医科大学 地域医療学センター  
総合診療部

梶井 英治



# 高齢社会と健康問題の変化

---

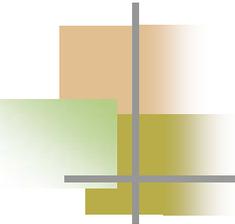
高齢化率：20.1%（平成17年）

平均寿命：男性79.0歳、女性85.8歳

健康問題：複数の慢性疾患へ

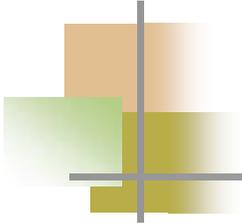
医療の役割：

「病気の治療」から「病気の管理、  
健康の維持、身体機能回復」へ



---

# 医師不足の現状

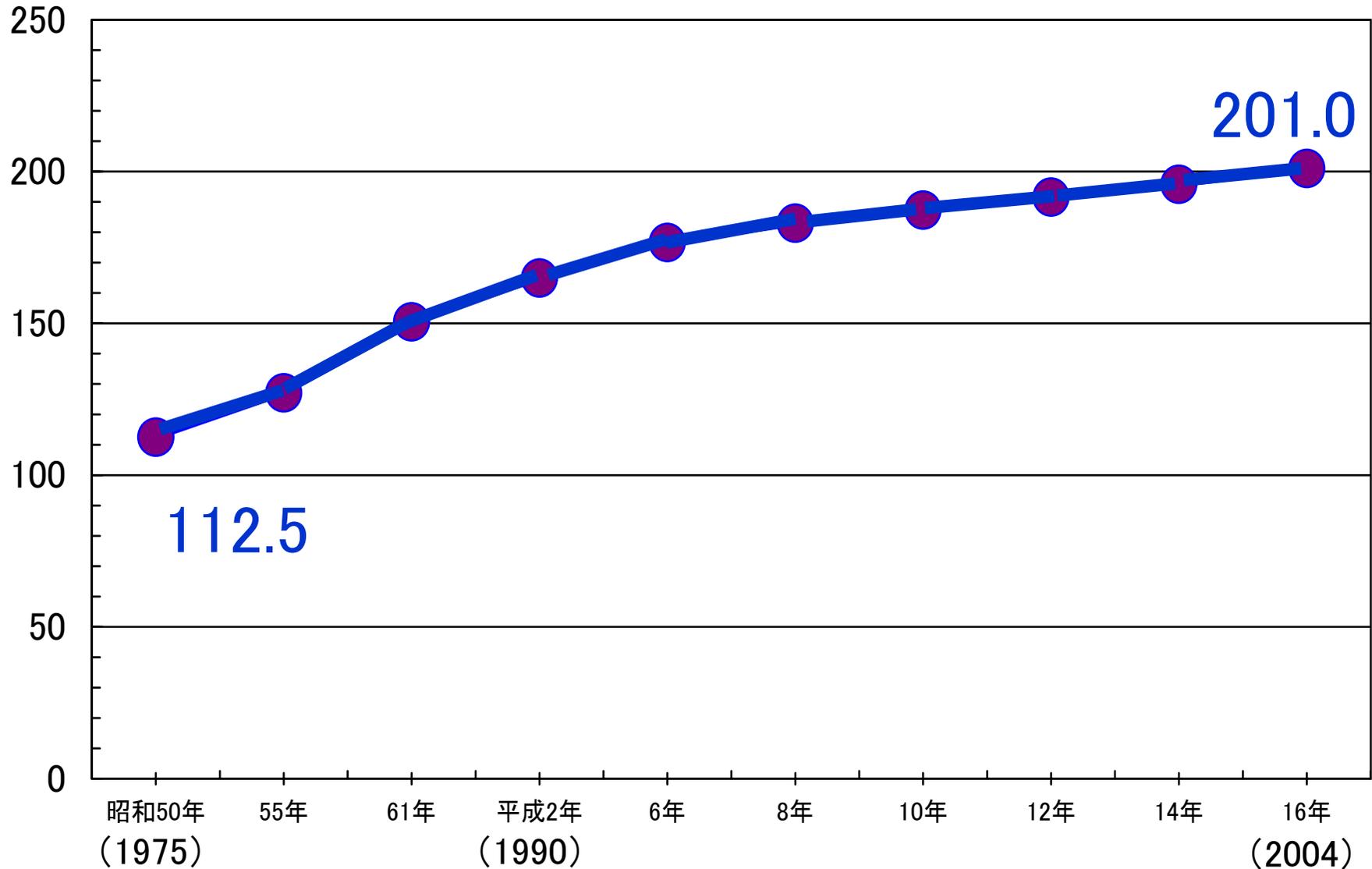


# 医師不足の現状

---

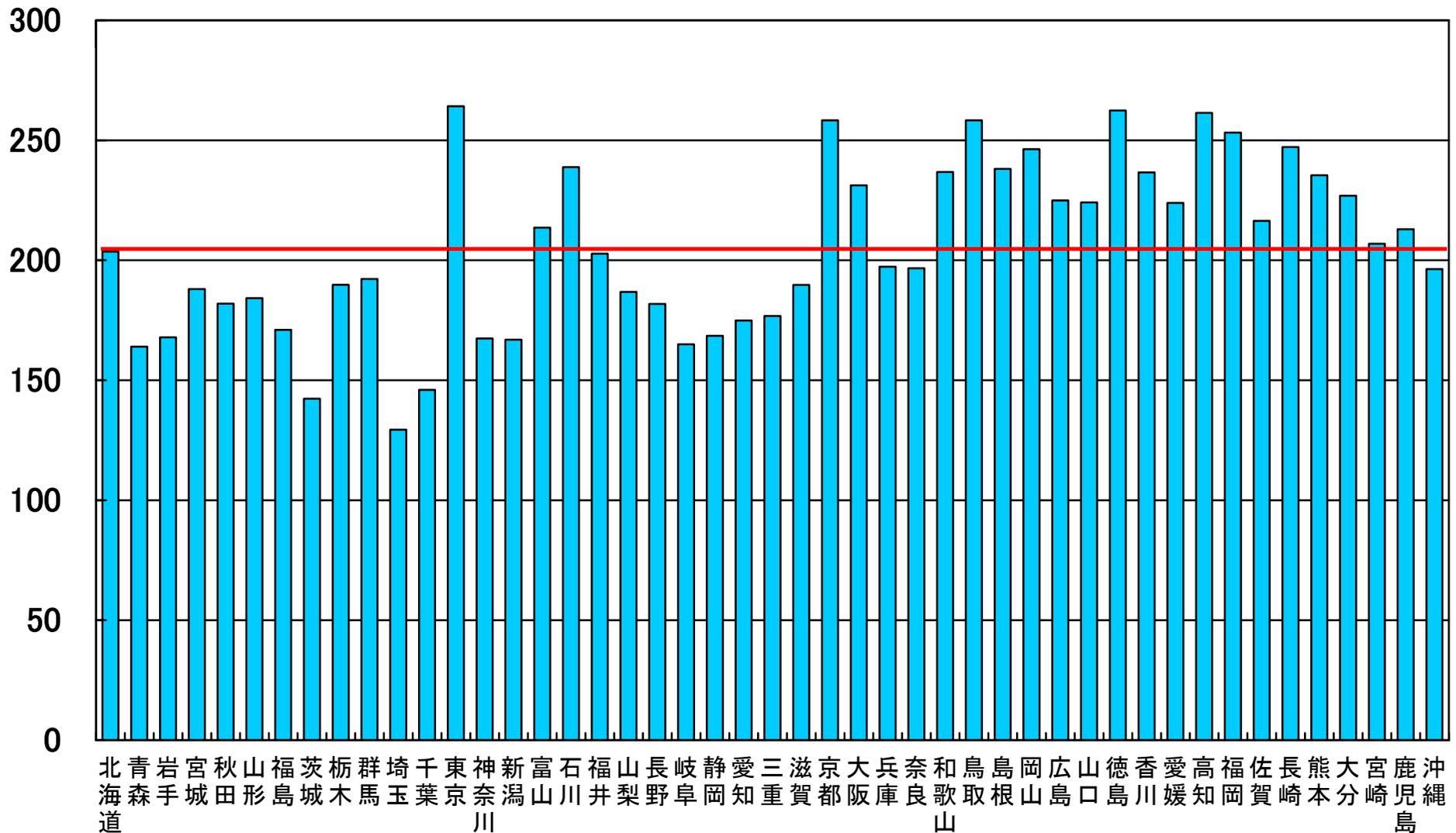
- 医師の絶対数が不足している
- 医師が偏在している
  - 都市部に集中している
  - 中小規模の病院の医師が足りない
  - 小児科医、産科医、麻酔科医が足りない
  - 夜間、休日に診療する医師が少ない

# 人口10万対医師数の年次推移



# 平成16年都道府県別医師数(人口10万対)

(全国平均 201.0人)

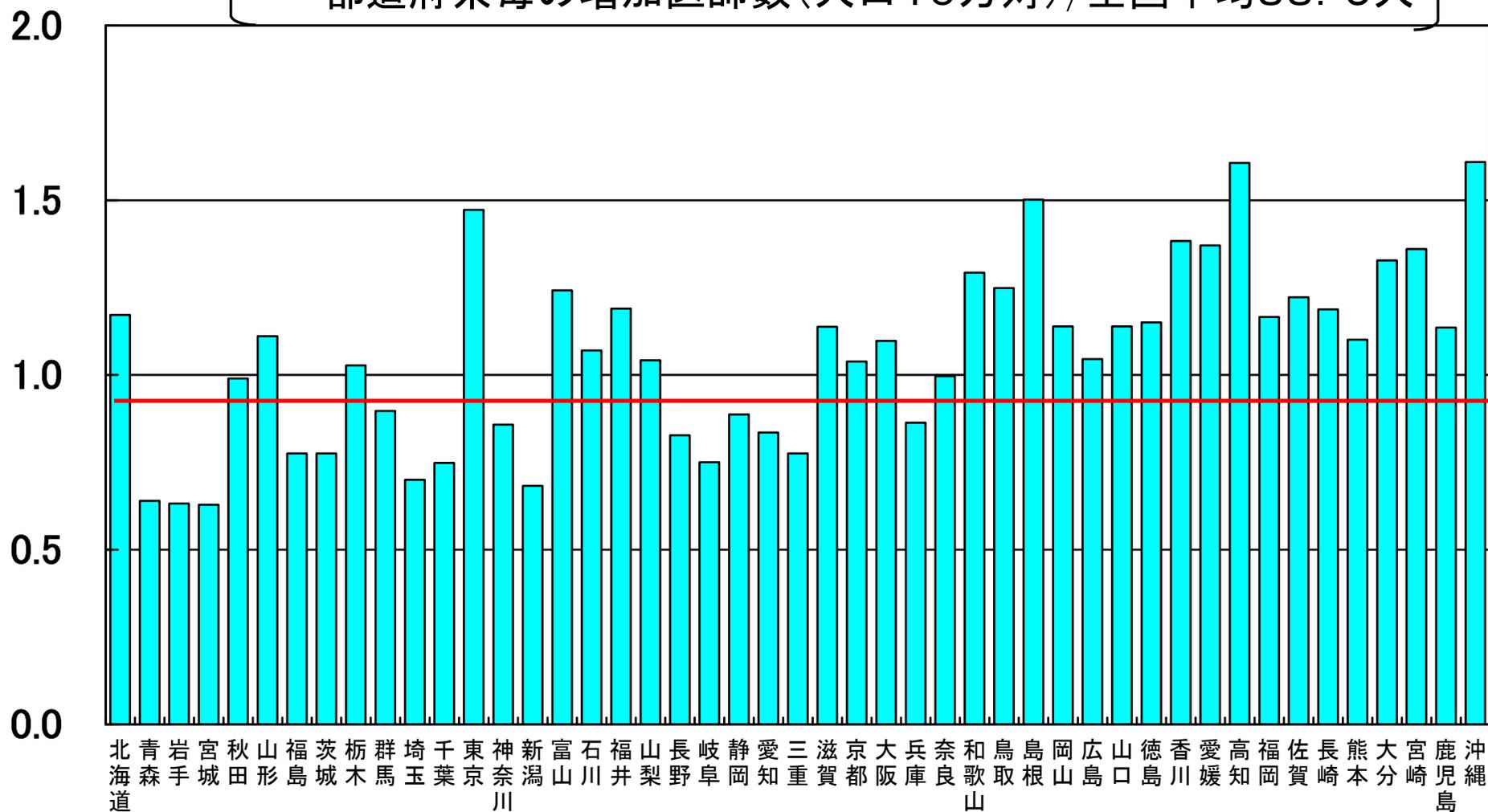


(厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」) 6

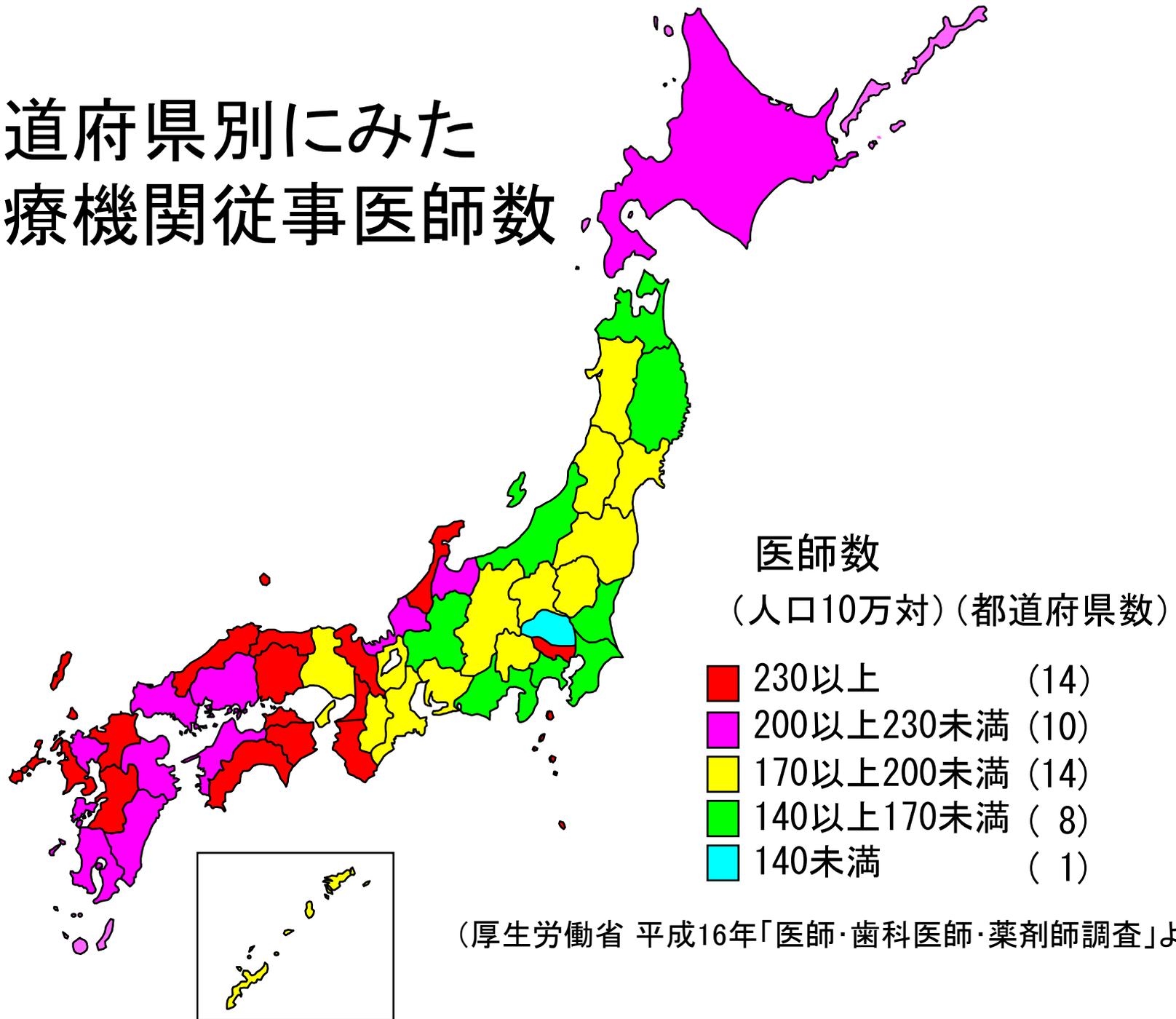
# 都道府県別医師増加率

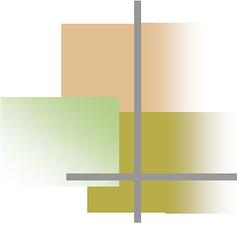
2004年と1975年との比較

都道府県毎の増加医師数(人口10万対)/全国平均88.5人



# 都道府県別にみた 医療機関従事医師数





# 新医師臨床研修制度

---

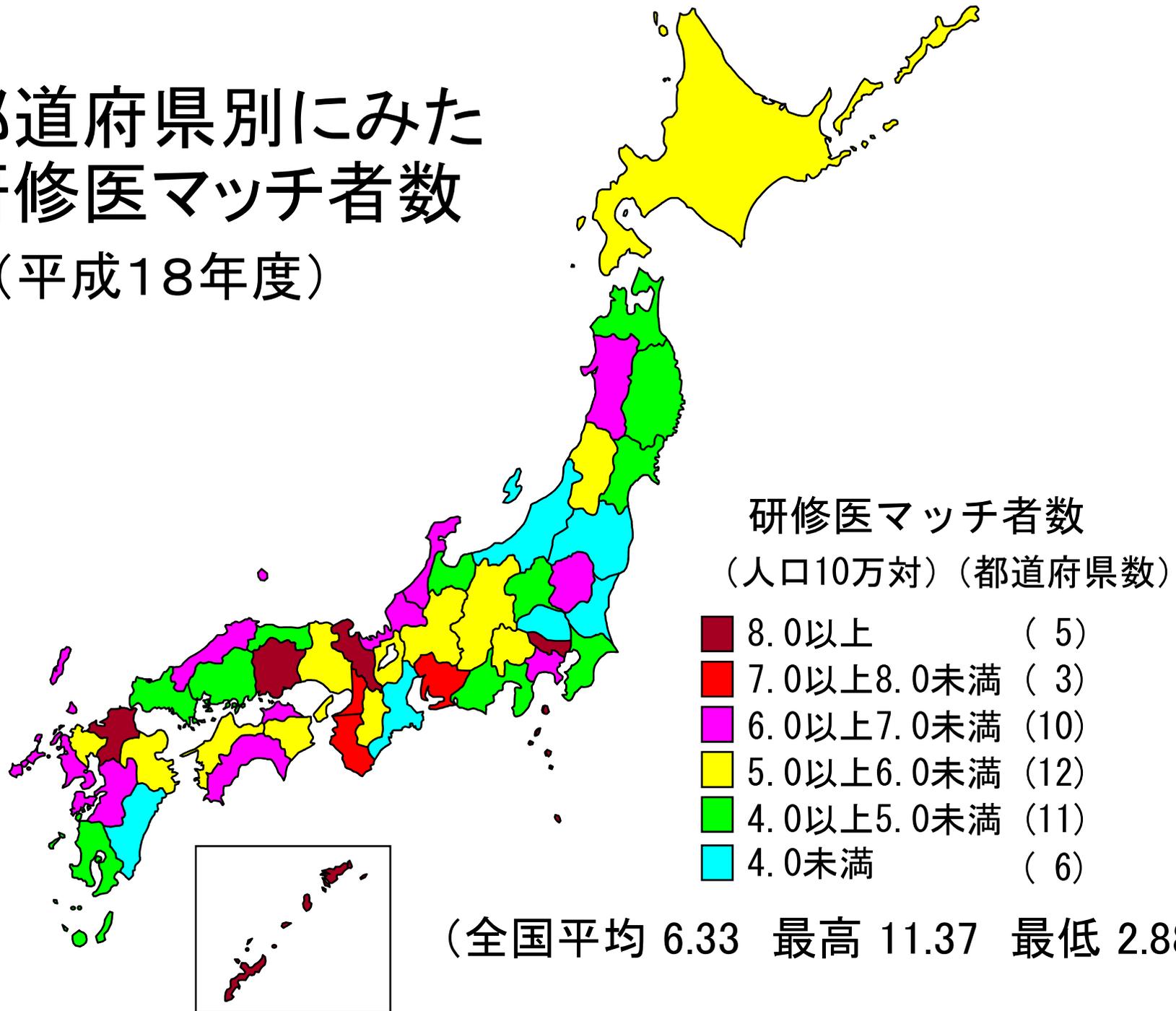
「地域保健・医療」分野の必修化

→ 地域現場における

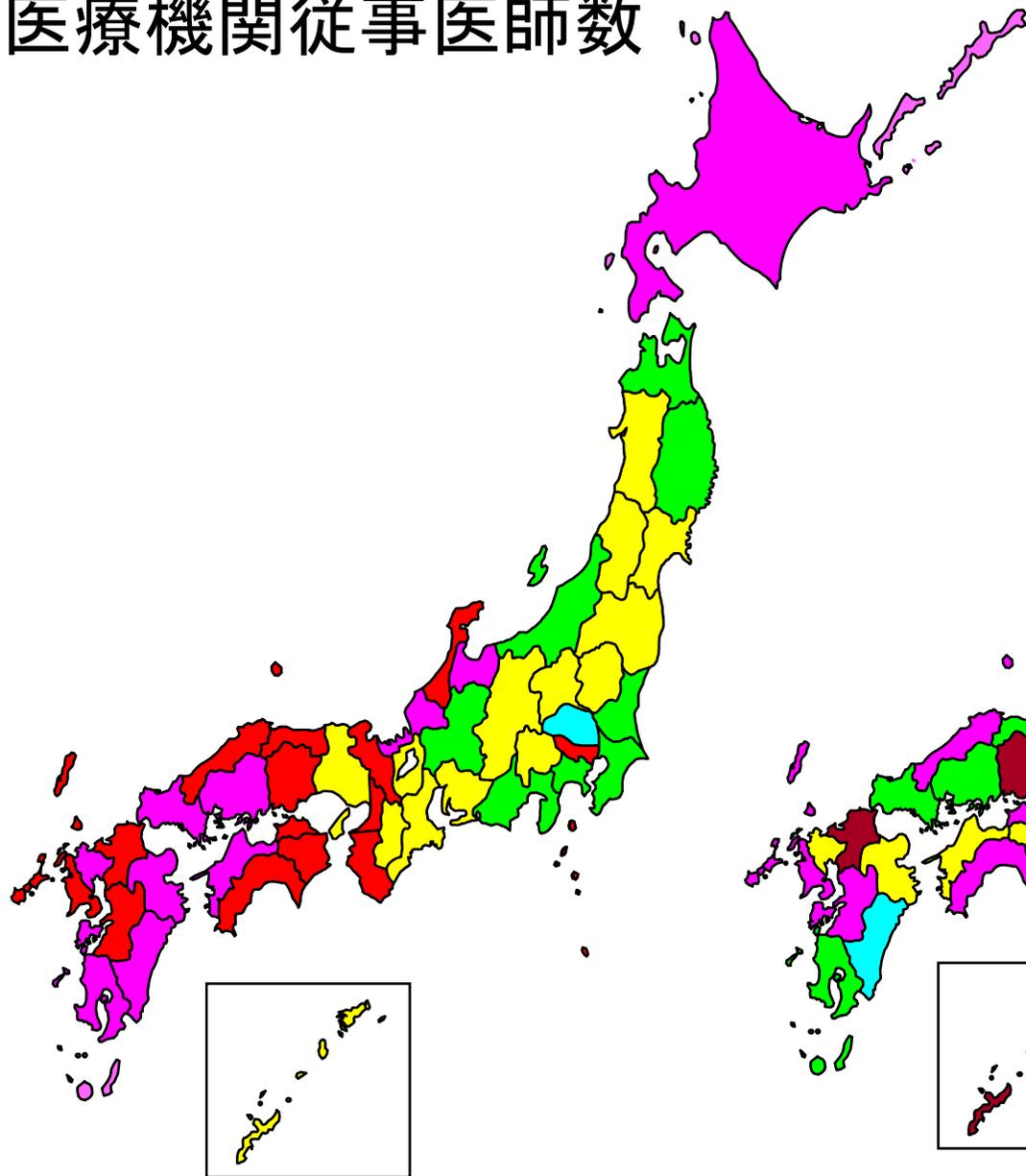
教育・研修体制の整備

# 都道府県別にみた 研修医マッチ者数

(平成18年度)

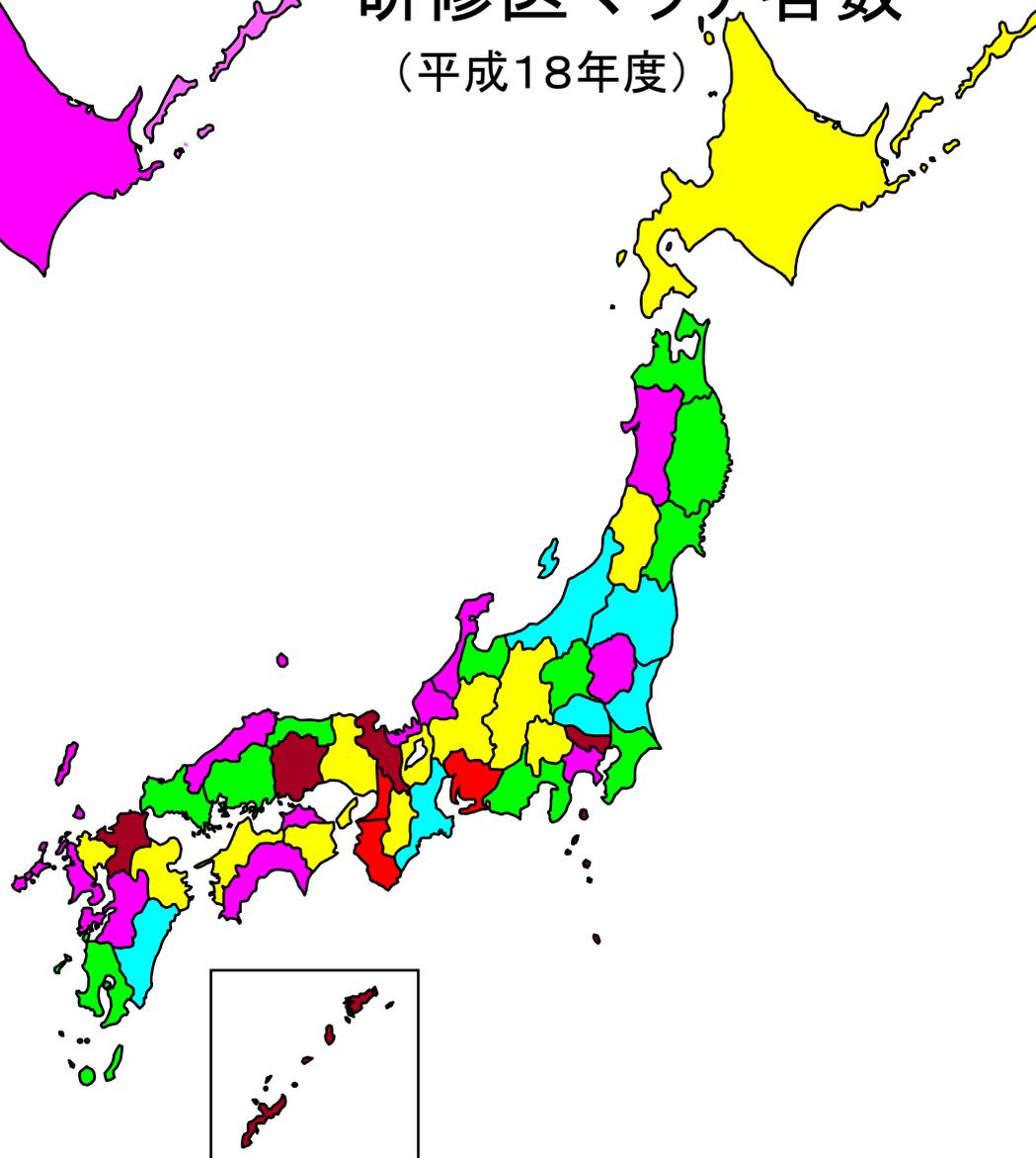


# 都道府県別にみた 医療機関従事医師数



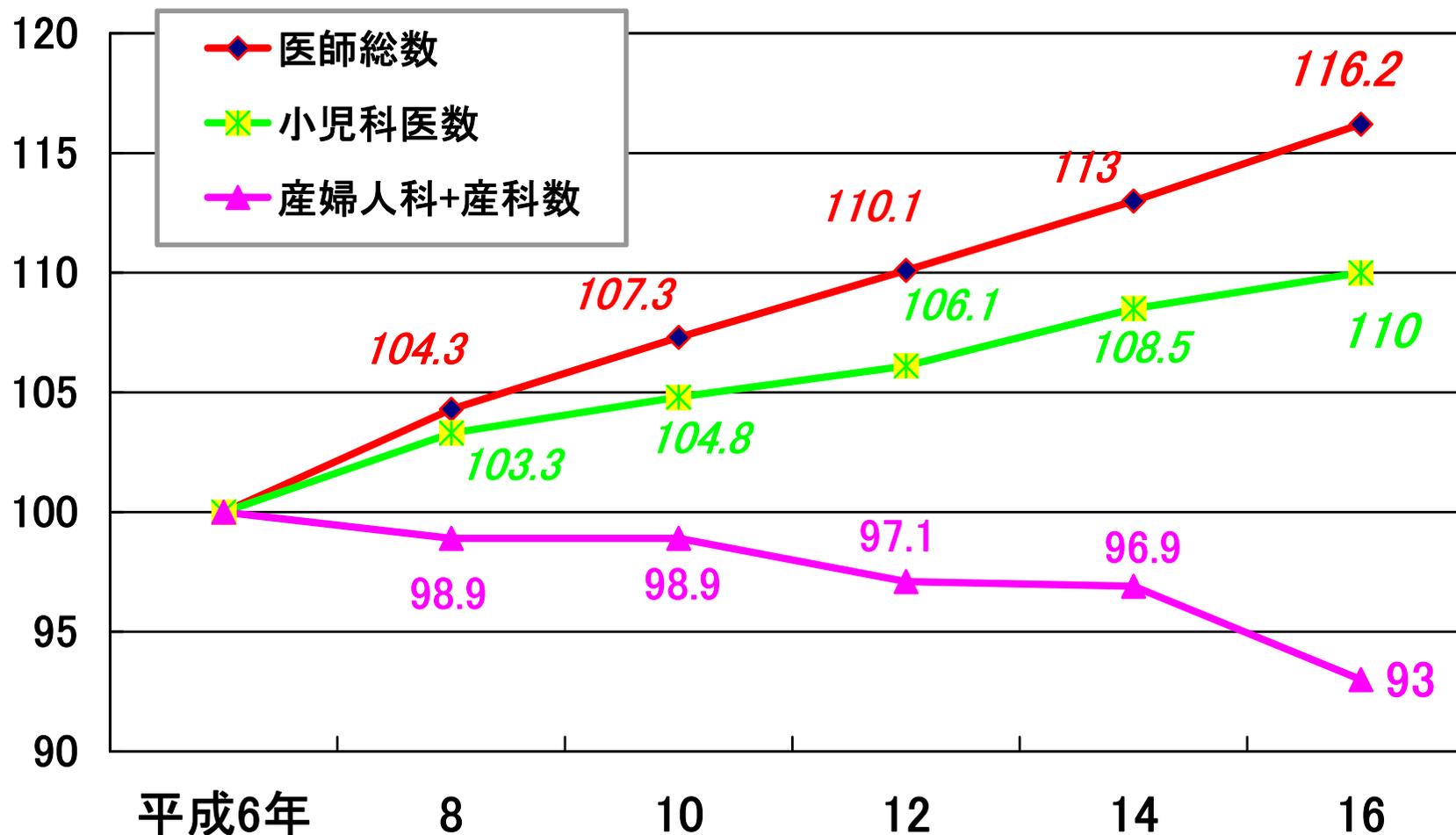
# 都道府県別にみた 研修医マッチャー数

(平成18年度)



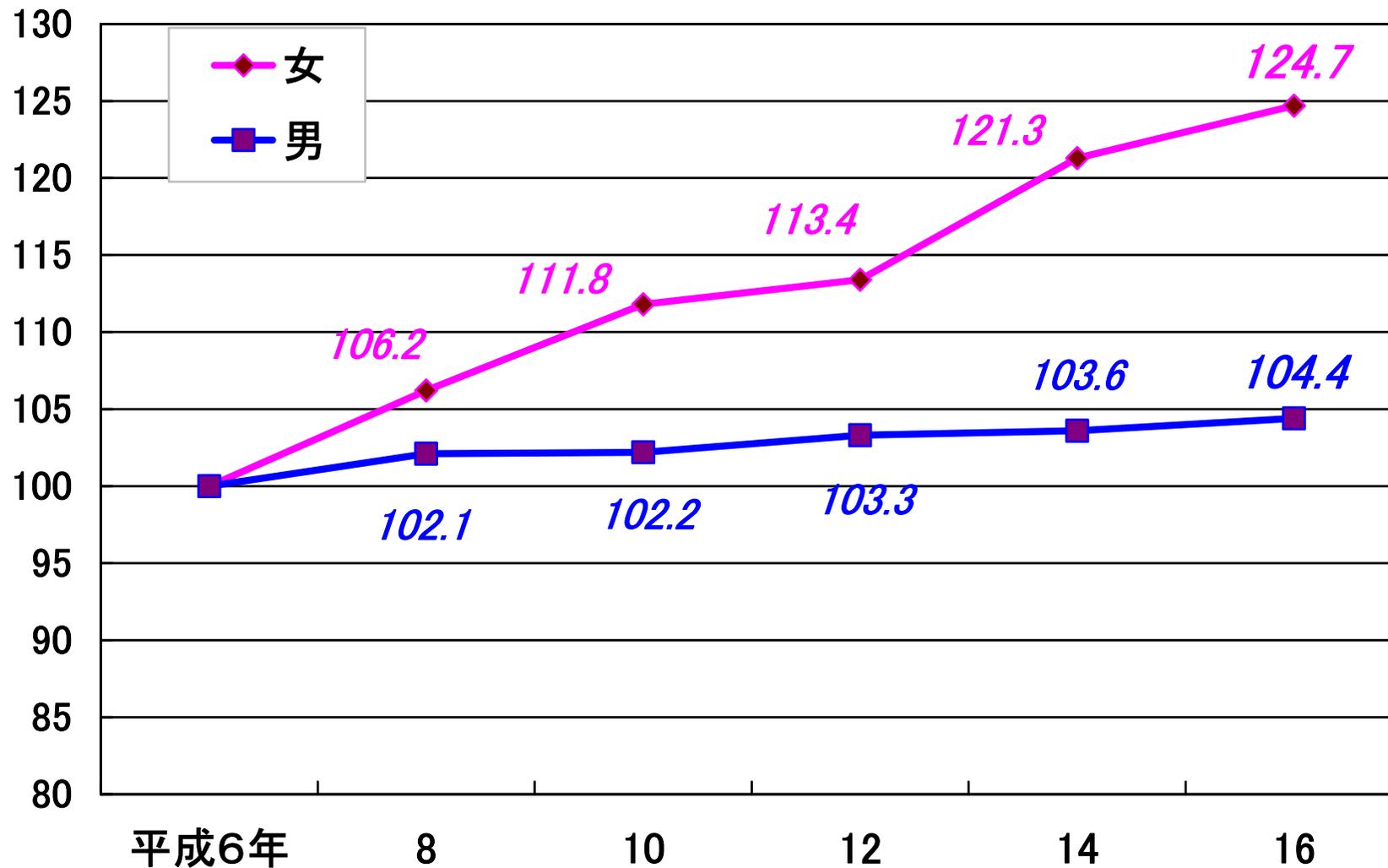
# 小児科、産科・婦人科医師数の推移

—平成6年を100とした場合の増減—



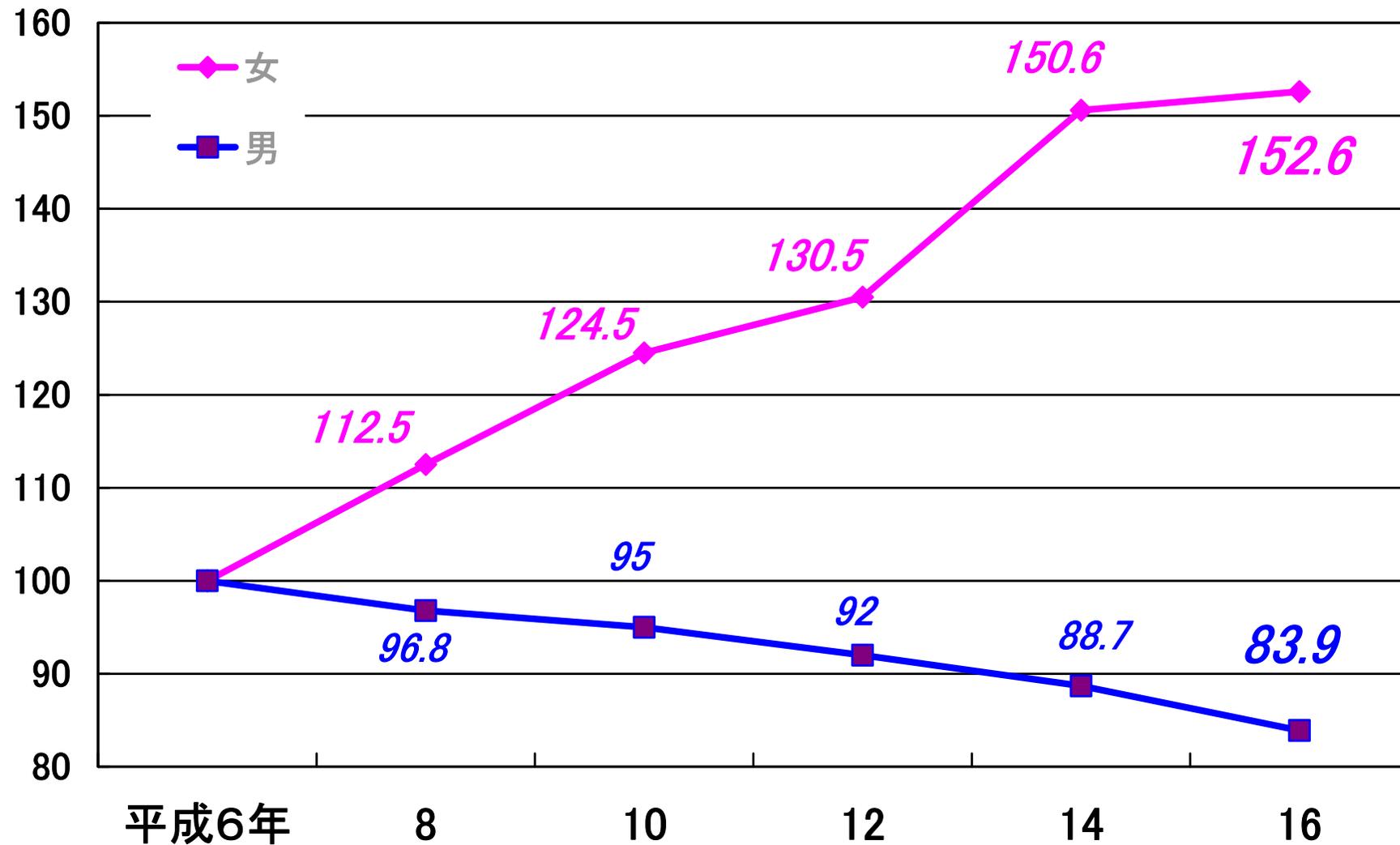
# 男女別・小児科医師数の推移

－平成6年を100とした場合の増減－

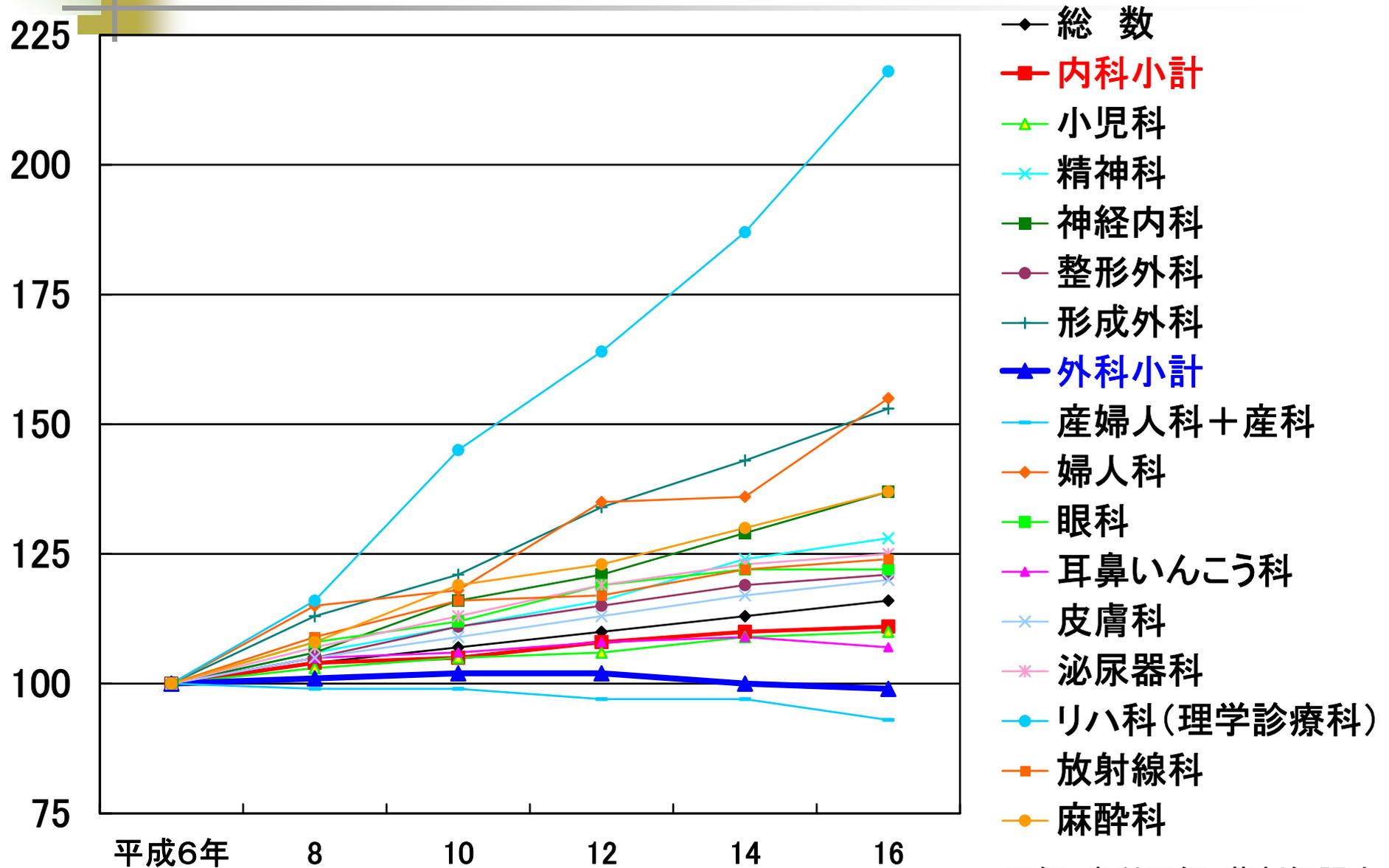


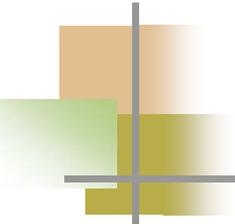
# 男女別・産科・婦人科医師数の推移

—平成6年を100とした場合の増減—



# 各診療科医師の推移



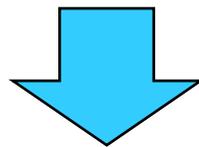


---

# 地域医療について

# 国民の健康を取巻く現状と課題

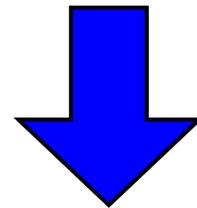
- 高齢化
- 疾病の慢性化, 複合化
- 人間関係の過疎化



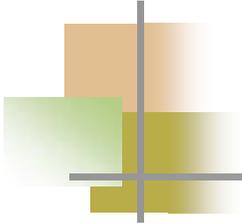
疾病の予防, 継続的ケア  
闘病への支援(介護, リハビリ)  
QOLの向上, 生きがい感の回復

# 地域医療への取り組み

健康教室、疾病予防から治療、  
リハビリテーション、在宅ケアまで



一貫した**全人的、包括的医療**の実践  
**多職種連携**の促進



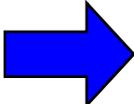
# 医師不足

---

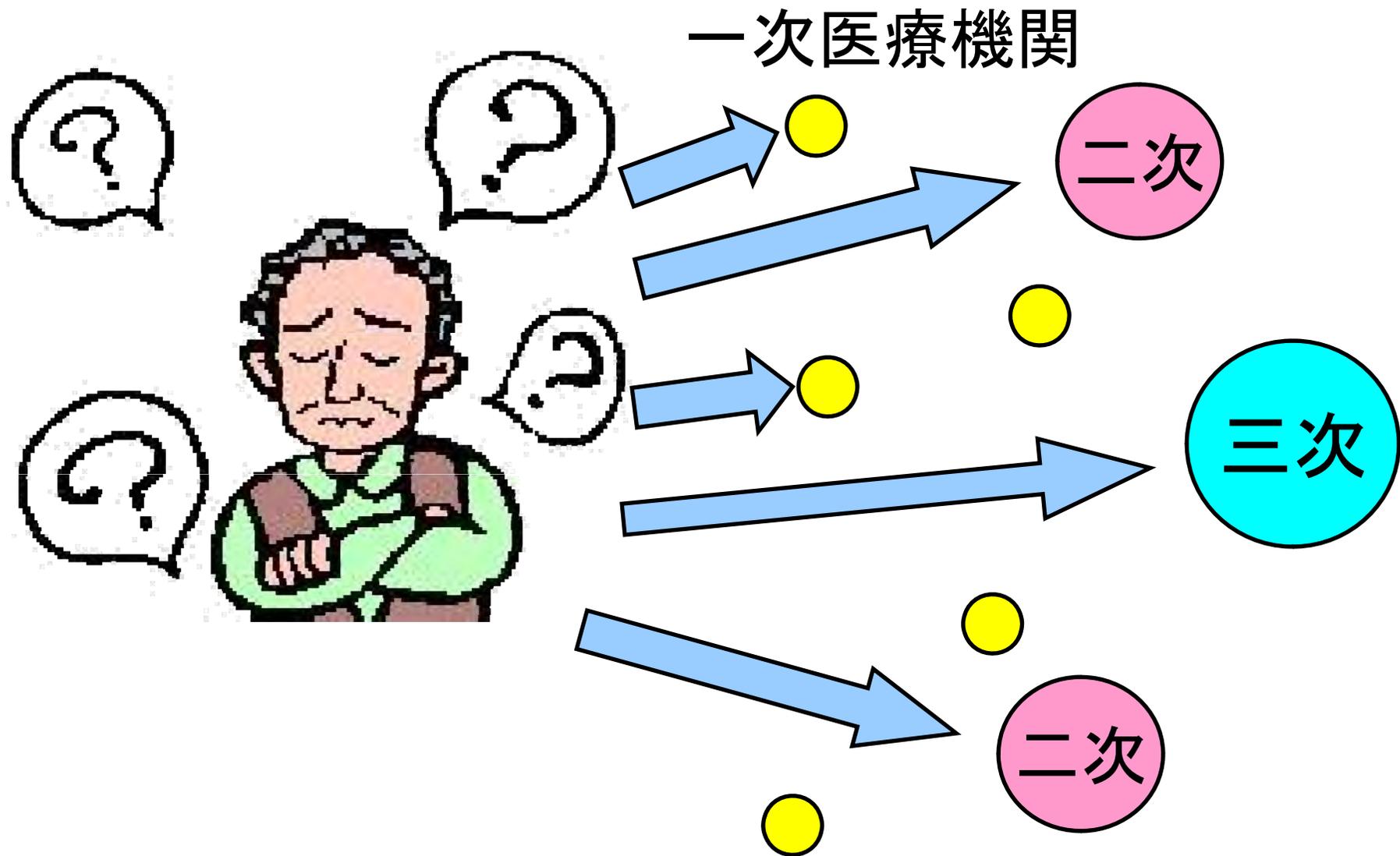
- 養成数の不足
- 医療需要と医師数との不均衡

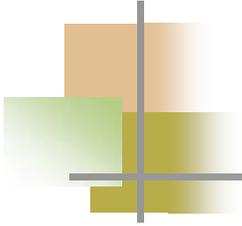
世界標準に比し数倍の病床数と受診患者数

- 質の確保が困難
- サービスの低下、医療事故・ミスが増大
- 患者の不安・不満が増大

 **医療者の献身的努力に限界**

# 医療の流れ(現在)





# 住民の医療機関の選択

---

- うわさ、イメージによる選択
- 大病院、専門医志向
- 権利意識の台頭

⇒その結果・・・

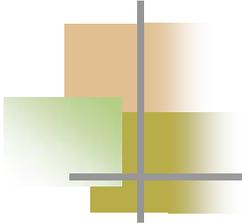
- とまどい、不信感の増大
- 多数の医療機関・診療科の受診
- 特定医療機関への集中

## 1,000人の米国住民の医療機関受診状況

|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 開業医   | 217 人 | 79.5 % |
| 在宅    | 14    | 5.1    |
| 救急外来  | 13    | 4.8    |
| 病院 外来 | 21    | 7.7    |
| 入院    | 8 *   | 2.9    |
| 計     | 273   | 100    |

\*大学病院 0.7人

( Green LA et al : NEJM 2001 ; 344 : 2021 )

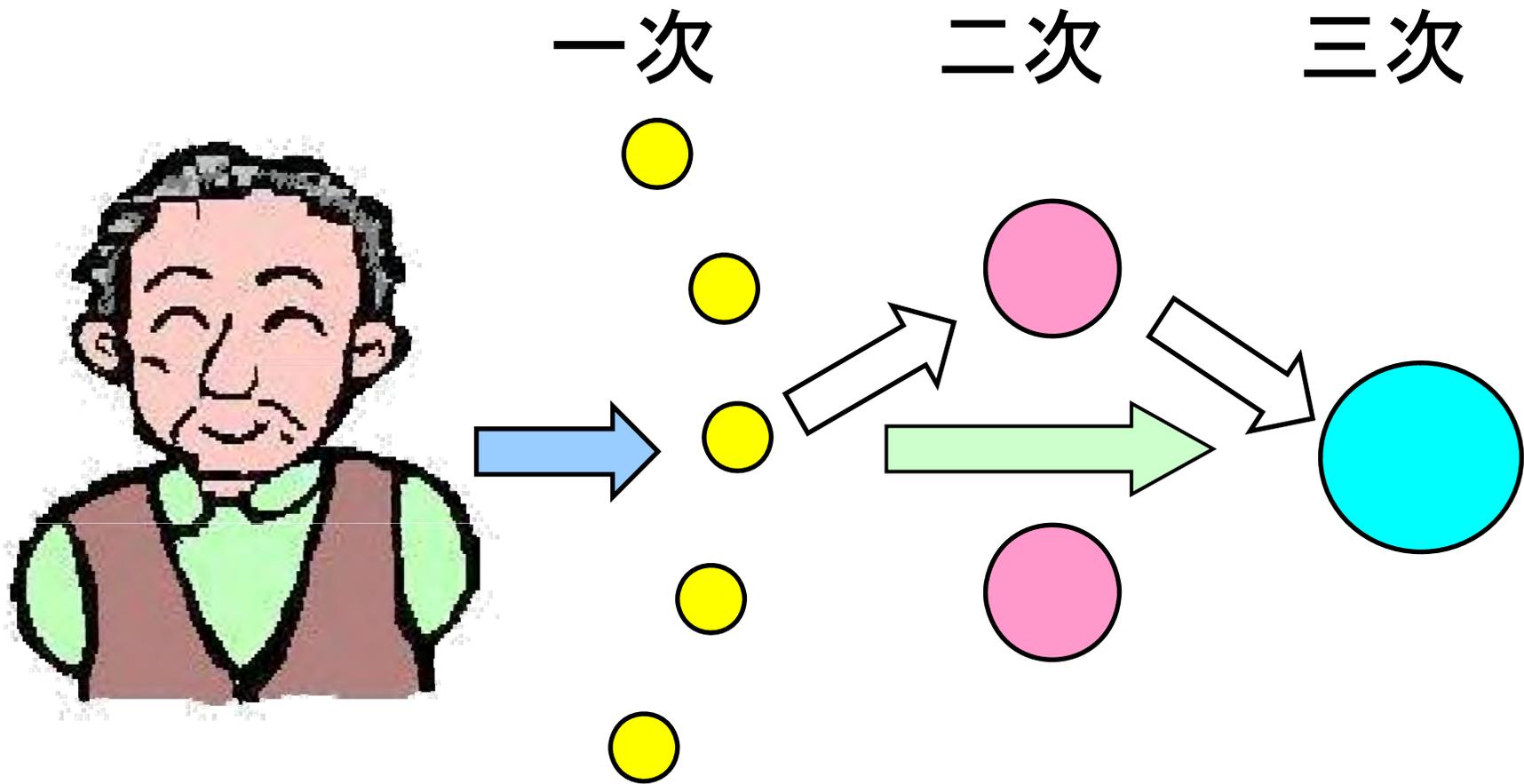


1,000人の住民のうち1ヶ月間に  
307人が医療機関を受診

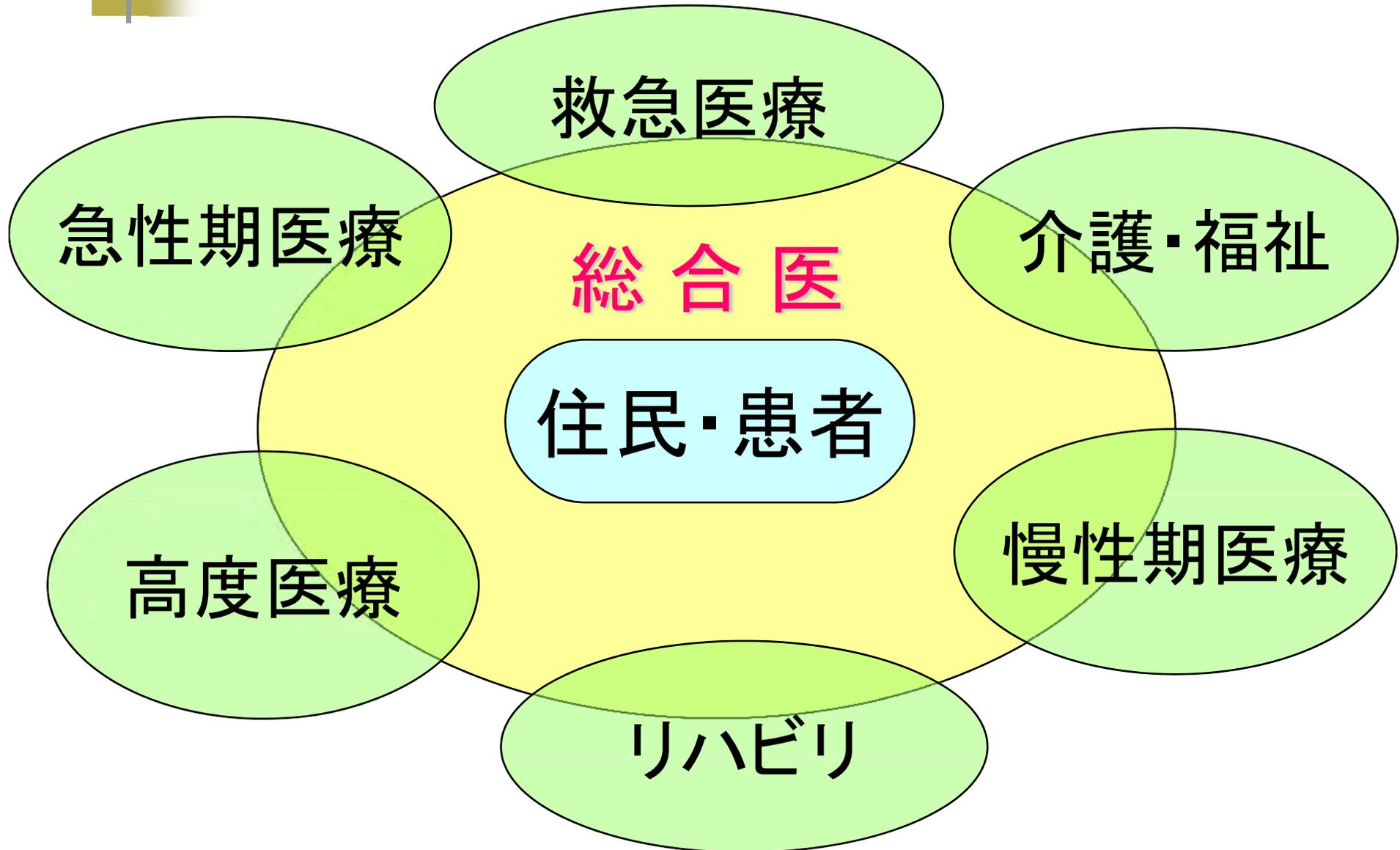
|      |    |       |
|------|----|-------|
| 開業医  |    | 232 人 |
| 救急外来 |    | 10    |
| 一般病院 | 外来 | 88    |
|      | 入院 | 7     |
| 大学病院 | 外来 | 6     |
|      | 入院 | 0.3   |

( Fukui T et al : JMAJ 2005 ; 48 : 163 )

# 医療の流れ(理想)



# これからの医療連携体制

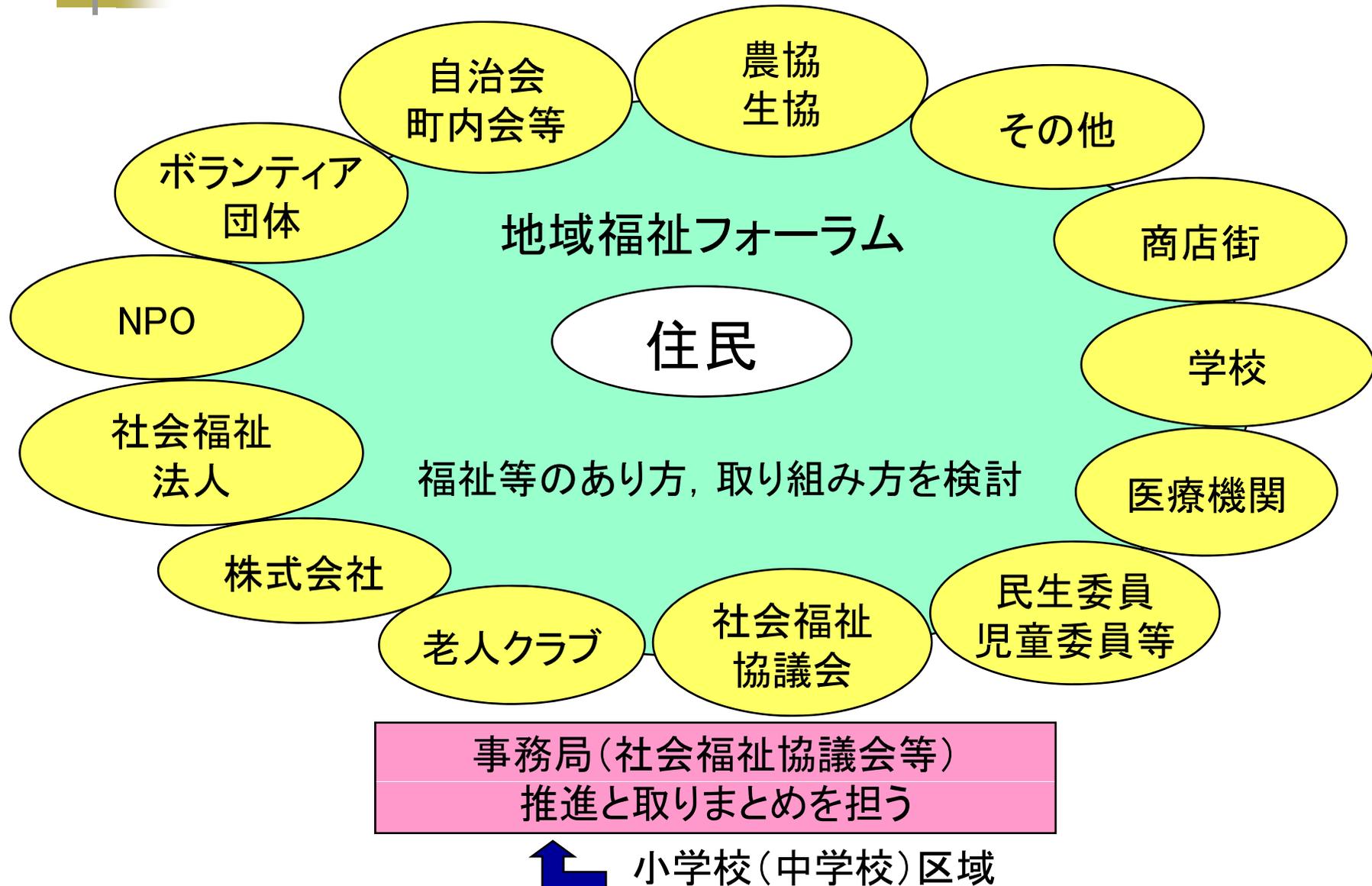


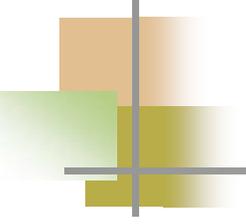
# 地域福祉を支える団体(組織)



# 地域福祉フォーラム

(千葉県地域福祉支援計画2004年)





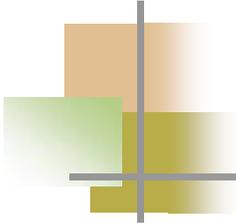
# これからの福祉

---

規格化されたサービス・ケア

→ オーダーメイド化へ

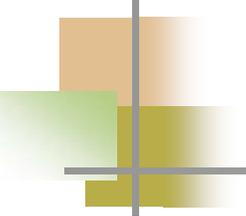
- 小規模・多機能・地域密着
- 社会資源の効率的・効果的活用



# 『医療の流れ』づくりの基本

---

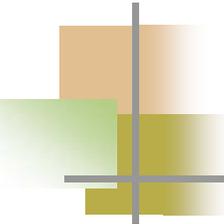
- 医療機関の機能分担・連携
- 総合医の育成・定着
- 住民への啓発・啓蒙
- 相互の信頼と理解・協力



# 「何でも相談できる医師」の役割

(総合医、家庭医、プライマリ・ケア医)

- 一般的な病気の診断と治療
- 初期救急
- 適切な紹介
- 慢性疾患の長期管理
- 健康増進と疾病予防
- 医療チームにおけるリーダーシップ
- 全人的, 包括的医療



「何でも相談できる医師がいますか？」

---

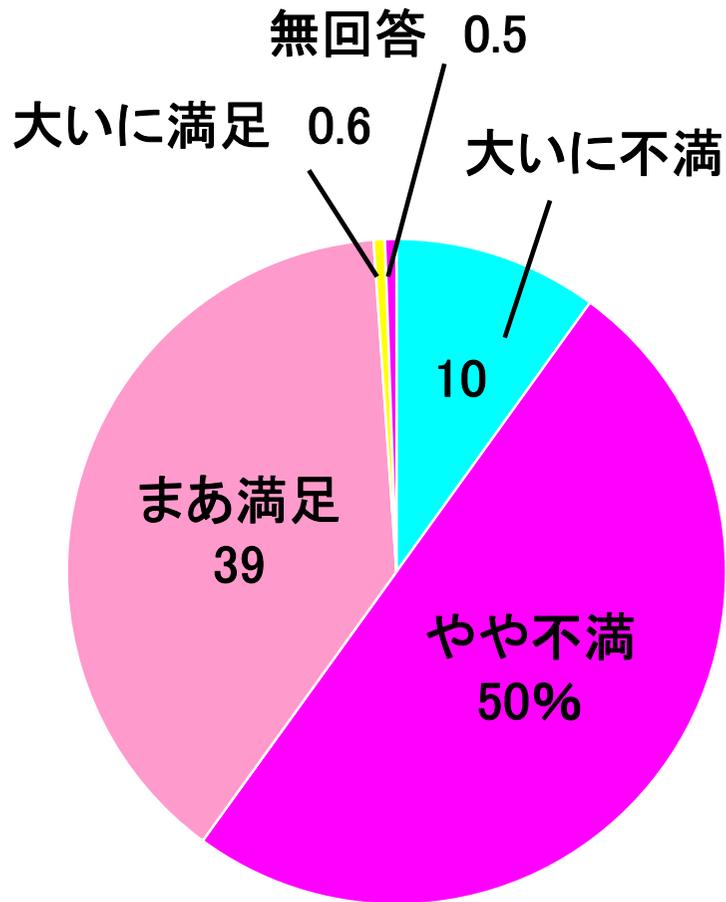
→ 「ハイ」

A町(人口 5,275人) 約 33%

B村(人口 2,082人) 約 80%

# 医療に対する全般的満足度(1)

問： あなたは現在の医療制度にどの程度満足していますか？



回答者数：1,011人

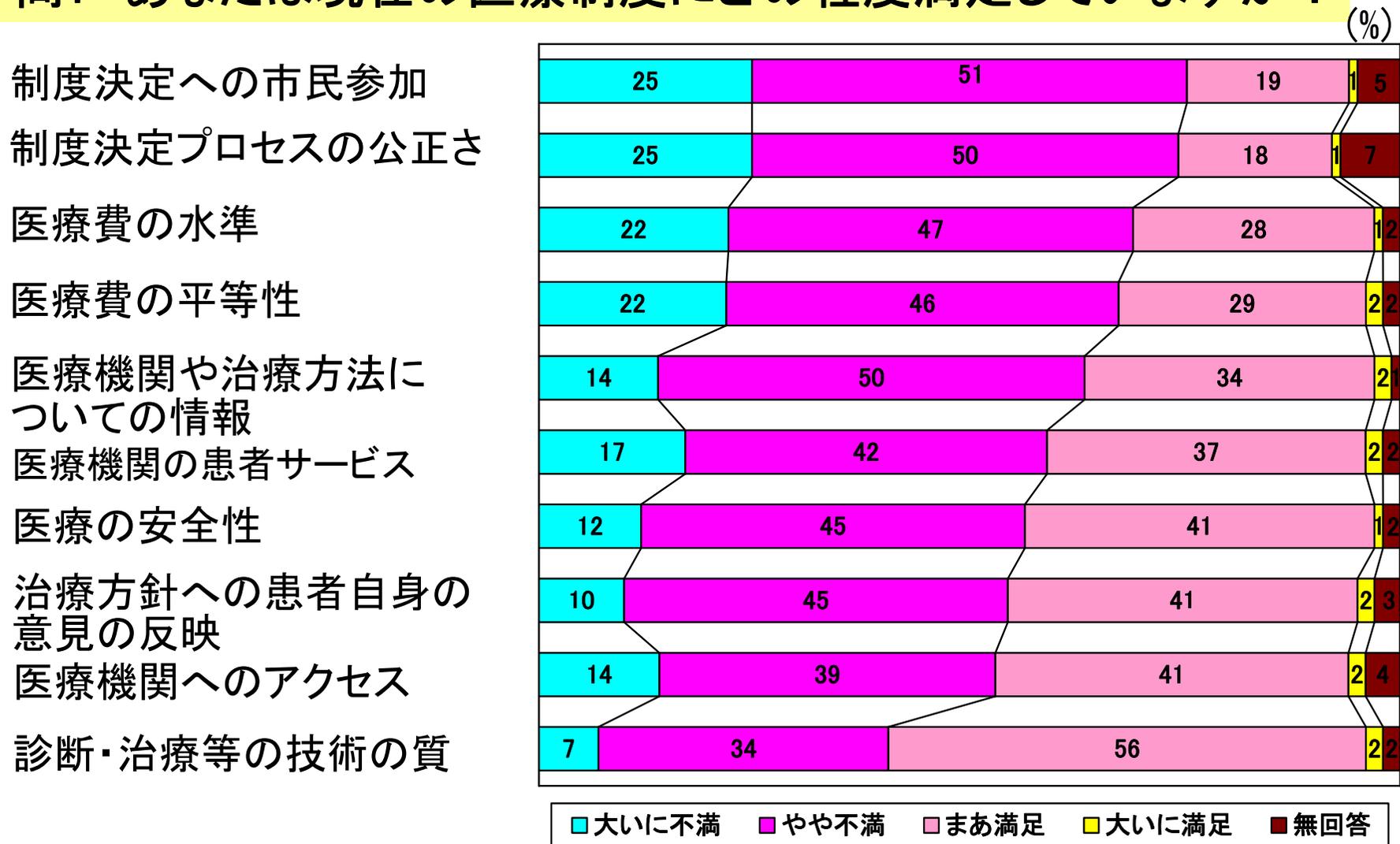
## 《回答者の内訳》

| 年齢   |    | 性別  |     |
|------|----|-----|-----|
| 20代  | 9% | 男性  | 55% |
| 30   | 13 | 女性  | 43  |
| 40   | 14 | 無回答 | 2   |
| 50   | 25 |     |     |
| 60   | 30 |     |     |
| 70以上 | 8  |     |     |

資料：特定非営利活動法人 日本医療政策機構  
「医療政策に関する2006年世論調査」

# 医療に対する満足度(2)

問： あなたは現在の医療制度にどの程度満足していますか？





参加無料

みんなで創り支える  
私たちの地域医療

# 地域医療を考える 県民フォーラム

あomorの信

2006.11.19 SUN

9:30~16:40 開場/9:00

会場 青森市文化会館

基調講演

高久 史磨氏 自治医科大学学長  
「わが国の医学・医療を  
めぐる諸問題」

■講師プロフィール  
1931年2月 生まれ  
1954年3月 東京大学医学部卒業  
1972年4月 自治医科大学内科学教授  
1982年7月 東京大学第三内科教授

1987年4月 東京大学医学部  
1990年4月 国立病院医療センター一階  
1998年4月 自治医科大学学長  
2004年4月 日本医学会会長

パネルディスカッション

「青森の地域医療を考える」

コーディネーター  
梶井 英治氏  
自治医科大学地域医学講座教授

■パネリスト

三村 申吾氏 青森県知事  
佐藤 敏信氏 厚生労働省医政局指導課長  
佐藤 敬氏 弘前大学医学部長  
佐々木 義樓氏 青森県医師会会長  
角田 周氏 地域医療研究会

地域分科会

「安心して受けられる  
地域医療とは」

●第1分科会/西北五地域 ●第3分科会/三戸・田子地域  
●第2分科会/下北地域 ●第4分科会/東青地域

地域分科会報告(全体会議)



主催: 青森県・(財)地域社会振興財団  
後援: 総務省・厚生労働省・青森県医師会・(株)東  
北日報社・(株)陸奥新報社・(株)テーリー東  
北新聞社・青森放送(株)・(株)青森テレビ  
・青森朝日放送(株)・NHK青森放送局・全国  
自治体病院協議会青森県支部・青森県自治  
体病院開設者協議会・自治医科大学

青森県医療業務課医師確保  
・機能再編推進グループ  
TEL.017-734-9288 FAX.017-734-8089  
E-mail:ryoref@domni.jp

お問い合わせ

# 地域医療を考える 県民フォーラム

安心して暮らせる明日のために



平成19年  
12月15日 土  
10:00~16:50

ホテルクレメント徳島

※参加は無料です。  
※参加者に阿波踊り体験DVDを配布します。(先着500名)

◆基調講演「わが国の医学・医療をめぐる諸問題」

○講師 高久 史磨  
(自治医科大学学長・日本医学会会長)



講師プロフィール  
1931年 2月 生まれ  
1954年 3月 東京大学医学部卒業  
1972年 4月 自治医科大学内科学教授  
1982年 7月 東京大学第三内科教授  
1987年 4月 自治医科大学学長  
1990年 4月 国立病院医療センター一階  
1998年 4月 自治医科大学学長  
2004年 4月 日本医学会会長

◆パネルディスカッション

「徳島の医療を考える」

とくしま円卓会議



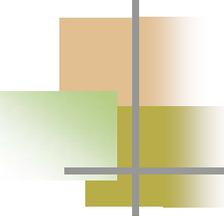
◆分科会(県民参加型)

- 1分科会 「どうする地域医療!」
- 2分科会 「病院の上手なかかり方」
- 3分科会 「みんなでつくり健康とくしま」

◆分科会報告会(全体会議)

お問い合わせ/徳島県保健福祉部 保健福祉政策課 TEL.088-621-2165 FAX.088-621-2839

●主催/徳島県・(財)地域社会振興財団  
●後援/総務省・厚生労働省・徳島県医師会・徳島県歯科医師会・徳島大学・徳島新聞社・NHK徳島放送局・四国放送・朝日新聞徳島支局・毎日新聞徳島支局・日本経済新聞社徳島支局  
・産経新聞社徳島支局・読売新聞大坂本社・共同通信社徳島支局・時事通信社徳島支局・全国自治体病院協議会徳島県支部・徳島県自治体病院開設者協議会・自治医科大学



# 診察室から地域の中へ

---

## 住民の中へ

- 健康の守り方
- 病気の知識、対処する術
- 地域医療づくりについて

## 子ども達の中へ

- いのちのこと、からだのこと、健康のこと
- 病気と生活習慣のこと
- 応急処置のこと

健康、医療についてみんなで考えてみましょう

- 取り組もう 健康づくり
- 身近に持とう  
なんでも相談できる医師
- 守り育てよう  
みんなのわたしたちの地域医療

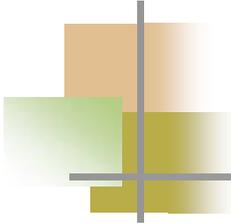


# 地域力

一人の力は小さくても



皆の輪が大きな力を生み出します



# 地域医療の確保・充実策の方向性

- 地域という枠組みの再構築
- 住民が参加する地域医療づくり
- 地域医療を担う総合医の育成
- 地域医療機関間の機能分化と連携
- 地域医療を支援する体制の充実
- 各都道府県あがての地域医療体制の構築